



2025年度(令和7年度)に実施する各種取組をご紹介します

「伝わる広報」を目指す取組

広報ぬまづの全号カラー化などにより市政情報を効果的に発信。また、沼津市LINE公式アカウントの利用者が必要とする情報を選択できる機能を導入。個々のニーズに合わせた形で、きめ細かく情報を届ける。生活・防災・観光などの各種情報へのリンクの固定表示。道路の不具合などの通報機能やアンケート機能も導入。



消費者生活相談や凶悪犯罪の対応

相談件数の高止まりや内容の複雑化を踏まえて、消費生活相談員を2名から3名に増員。学校や高齢者の集まりなどへの出前講座の回数も増やします。2024年の特殊詐欺被害は42件で被害総額は約2億6千万(前年の1.4倍)と増加傾向。沼津警察署等と連携した啓発活動に取り組みほか、悪質電話対策機能のある電話機の購入補助も継続実施します。



結婚を希望される方々を応援

市公認サポーター縁結び隊と連携したイベントやセミナーに加えて、民間事業者の専門的なノウハウも取り入れ。自然環境や地域資源を活用したイベント開催などの出会いの場を提供することで、婚姻数の増を目指します。



まちづくり活動を支援

地域活性化や住民の生活向上に役立つ活動を支援する「民間まちづくり活動支援事業」を募集。全額補助される学生枠もあります。まちなかでの活動には上乘せ支援も。受付は4/30(水)まで。詳細は「沼津市マチカツ」をご覧ください。



体験型バスツアー

移住希望者向けバスツアーです。沼津市での生活がイメージできるよう、公園や賃貸住宅をめぐって住環境を確認してもらうほか、自然豊かな海を身近に感じる漁船への乗船やスマートフェンシングの体験なども実施。さらなる移住者の確保につなげます。



再利用可能な廃棄物の売却

排出された廃棄物のうち、再利用できるものを職員が判別・価格設定をし、民間事業者のサイトに掲載。入札により購入者が決定した際は、クリーンセンター(沼津市上香貫)まで物品を引き取りに来ていただきます。ゴミの減量と循環型社会の形成を目指す取組の一つとして実施します。



市職員に対するカスハラ防止策

カスハラ行為者に組織として毅然とした対応をすることを表明する基本方針と職員が対応する際に必要となる要綱・マニュアルを作成中。沼津市が実施したアンケートでは、全体の25%の職員が「2022年度以降にカスハラ相当の行為を受けた」と回答しています。本件、2024年6月の議会で取り上げた内容です。



水泳授業の民間委託

公立小学校23校中の14校が水泳事業を民間委託。それ以外の学校は自校プールでの指導を継続。中学校は、実技指導を行わずに座学で水泳の事故防止に関する心得を学ぶ形に変更。移動には事業者所有のマイクロバスも使用。プールの老朽化や熱中症・やけど対策などの課題がある中での判断です。



投票率の向上に向けた取組

期日前投票所の設置について、大型商業施設での可能性を検討し対象となる施設に打診するほか、ネットワーク環境の整備についても研究中。2024年12月の議会で取り上げた内容が動き始めています。



高校生の要望を議会で審議、きっかけは議員有志との意見交換会

市立沼津高校の生徒より『児童生徒たちが安心して通学・通塾でき、地域住民の皆様が安心して暮らせる対策を求める請願』が出され、沼津市議会で採択されました。

1 ハード面での対策

- ・静岡県警察が公表する声かけ事案発生マップに基づく防犯灯増設の検討
- ・停電時でも使うことのできるソーラー式防犯灯の導入促進
- ・自治会の負担減につながる防犯灯設置費などへの補助制度拡充(補助額や補助率など)

2 ソフト面での対策

- ・警察等によるパトロールや地域等による見守り・声かけの強化
- ・防犯や交通事故の抑止の面から一人での下校を避けるよう、市内小・中・高等学校の教師等からの指導と児童・生徒同士の声かけを推進
- ・防犯ブザーや反射材着用などの啓発
- ・ランドセルやリュックサックなどの使用が、事故の際自分自身の身体的被害の軽減を見込めることを呼びかけ
- ・防犯灯を補う自治会等への住宅の門灯・玄関灯点灯のお願い



ぬまづ
昔ばなし



平戸航太
さん

請願は高校生に代わって想いを伝え質疑に答える紹介議員の立場で参画。ぬまづ昔ばなし 第11巻「みかん仙人(西浦地区)」は5月に発刊予定です。国民民主党の平戸航太(ひらど こうた)さんを応援中。『ひらこう!未来のトビラ つくろう!新しい社会』

